

第 43 回庭野平和賞 受賞記念講演

[仮訳]

ベンキ・ピヤコ

2026 年 5 月 12 日

まず、この宇宙のすべてを創造した偉大なる創造主に感謝したいと思います。また、庭野平和賞に関わる皆さま、アシャニンカ族の皆さま、私をここまで導き、この場に立つ機会を与えてくれた祖先に感謝します。皆さまのおかげで、私は多くの愛をもって思いを分かち合い、世界平和を求める歩みとともにすることができています。

また、ヨレンカ・タソレンツィ研究所のスタッフ、支援者の方々、本日で参集の皆さま、日本政府関係者の皆さまにも感謝申し上げます。この国は平和への思いを示し続け、世界で起きている数多くの破壊や困難を乗り越えるための道を示してきました。対話と気づき、そして生命への愛の扉を私たちに開いてくださっています。

私は幼い頃から活動を続け、闘いながら、祖先から受け継いだ知恵を伝えてきました。それは人間のいのちだけでなく、大地や水、動物、そしてこの地球を形づくるすべての存在を尊重するという使命を果たすためです。

大地は私たちを養い、その上に生きるすべてのいのちを育んでいます。私はこの世界を、私たちが何千年にもわたって受け継いできた精神の道を通して見つめてきました。その精神の道こそ、私たちの存在の根源であり、今日まで私たちが地球で生き続け、すべてがつながり合う一つの存在として、自然の生物多様性を守り続けてこられた理由です。

私たちアシャニンカ族にとって、水はすべての生命が生まれる霊的な存在です。光は私たちの心を温め、本質への扉を開きます。そして、種が芽吹き、育ち、大地に実を結ぶ力を与えてくれます。こうした精霊の力は、地球だけでなく、宇宙に存在するすべての星々ともつながっています。そのつながりは、人間のいのちを支え、私たちにアイデンティティ、根源との結びつき、そして星々の世界へとつながる叡智を示してくれます。

私は幼い頃から、この思いを胸にメッセージを伝え続けてきました。子どもたちと共に活動しているのも、彼らに知恵の本質を残し、新たな視点による意識の目覚めをもたらしたいと考えているからです。私たちの食べ物はすべて、先ほどお話しした存在から与えられています。だからこそ、それらを私たち自身のいのちの一部として尊重しなければなりません。

自らのいのちを愛する人は、大地を愛し、水を愛し、私たちに生きる力を与えてくれるすべての存在を愛します。だからこそ私たちは、この道と希望を携え、平和の使者として世界にこのメ

ッセージを届けてきました。私も子どもの頃から、祖先から受け継いだこのメッセージを伝え続けてきました。私は大地の使者として、またその知恵を守る者としての使命を担っています。同時に、この地球上のさまざまな宗教の中に息づく叡智を深く尊重しています。

精霊の世界には言葉はありません。そこにあるのは「つながり」です。そのつながりを理解し尊重する人々は、地球上の偉大な賢者たちと結ばれます。私はこのメッセージを伝え続け、地球上のすべての賢者たちを結びつけたいと願っています。対話を通して、この世界と地球の未来を共に思い描きたいのです。

地球の未来は私たちだけではなく、地球に生きるすべての人々の手の中にあります。だからこそ、私たちはそのことを自覚し、地球をすべての人のためのかけがえのない存在として尊重しなければなりません。私はアシャンニカ族の代表として、また、我が国のすべての先住民族指導者を代表する者として、この使命を担ってきました。

私はルラ大統領、また、私たち先住民族の声を届けるために困難に立ち向かってきたすべての先住民の指導者たちにも感謝します。この知恵は、世界が学ぶべき貴重な財産であり、賢明な形で示され、導かれるならば、この地球が進むべき道を照らす力になるでしょう。

地球は今、環境破壊によって断崖絶壁の淵にいます。だからこそ、私たちは共に夢を描かなければなりません。

私は伝統医療や祖先から受け継いだ知恵を携え、私たちが今なおその知識を失わずに守り続けていることの証しとして伝えています。私たちは祖先の代から受け継いできた伝統の薬や知恵を持っています。森は私たちの偉大な母なる家であり、大地もまた偉大なる母です。大地は何百万年もの昔から、創造の始まり以来、すべての生命にいのちを与えてきました。誰に食べ物を与えるのか、誰に水を与えるのかを問うことなく、すべての生命を育んできたのです。

こうした思いを胸に、私たちは希望のメッセージを世界へ届けようとしています。大地に木を植えることで、私たちが大地によって養われていることを示し、同時に、自らの生存のために大地を守らなければならないことを伝えているのです。私自身もこの思いを胸に、幼い頃から両親とともに何百万本もの木を植えてきました。

私は父や母、祖父母、そして既にこの世を去った曾祖父母たちの知恵に感謝します。彼らは私たちに大切な財産を残してくれました。それは世界へメッセージを伝える者として歩み続けること、そして失われつつあるものを回復し、困難を乗り越えるために努力し続けることです。

今日、アマゾン是非常に深刻な問題に直面しています。しかし、それは先住民族だけの問題ではありません。国の発展計画やさまざまな開発事業の進め方に関わる問題です。多くの場合、そこに暮らす人々の伝統や文化が十分に理解されず、尊重されないまま進められています。

私たちは今、このような衰退が世界全体に警鐘を鳴らしていることを目の当たりにしていま

す。これからどのような未来を描くのか、私たちは真剣に考えなければなりません。なぜなら、気候変動はこの地域だけの問題でもブラジルだけの問題でもなく、すべての大陸に及んでいるからです。だからこそ、私たちはどこへ向かうのか、そして、この地球上で失われつつあるものをどのように回復していくのかを、私たちは共に考えなければなりません。

このような使命を胸に、私たちはこのメッセージを世界へ届けようとしています。これは、私たちがアヤワスカ会議を通じて実践していることでもあります。私たちはすべての大陸の先住民族の賢者たちを結び、対話し、語り合い、考えたいと思っています。そして、この知識や知恵が、すでに世界中で実践され、広く知られているさまざまな宗教と、どのように結びつき、共存できるのかを共に考えたいと思います。私たちがこの地球と人間のいのちをどのように見つめているのか、その考え方もまた尊重され、社会の中に受け入れられることを願っています。

私は伝統の薬や知識が多くの人々の生存にも役立つと考えています。祖先から受け継いだ伝統を大切にしているからです。私たちにとって森は単なる資源の場ではありません。森こそが私たちの薬の宝庫であり、生きるために必要なものがすべて存在する場所なのです。

今回の庭野平和賞は私個人ではなく、私の両親、叔父、祖先へ敬意を表して贈られるものです。そしてまた、大地を守るために闘い、いのちを落としてきた偉大なる指導者たちへの敬意が込められたものです。私は彼らを代表してこの賞を受賞しております。

この賞が一つの模範となり、人々の意識を目覚めさせることを願っています。宇宙の光が小さな種となり、一人ひとりの心の中に光をあててくれることを願っています。そして、その目覚めによって、私たちの知識や知恵がより尊重され、人類全体のつながりの中で守られていくことを願っています。

ここで私は、この国のすべての指導者の方々、そして世界中の先住民族の人々にメッセージを送りたいと思います。私は皆さまと力を合わせ、働きかけを行い、地球を守るために共に立ち上がり、この地球の未来への道を見いだす準備ができています。

今、世界各地で水資源が失われて多くの人々が渇きに苦しみ、また、飢えによっていのちを落としています。本来、人類には十分に生きていくための可能性や機会があるにもかかわらず、そのような状況が起きているのです。

私たちは戦争を目にしています。爆弾が使われています。科学技術もまた、時には人間のいのちを破壊する方向へ利用されています。

しかし、それは私たちが将来世代や未来のために選ぶべき道ではありません。私たちは、この世界をまだ取り戻すことができるのだと示さなければなりません。そのためには、まず私たち自身の内面から始める必要があります。平和も変化も、自分自身から始まらなければなりません。誰か他の人から生まれるものではなく、自らの心の中から生まれるものなのです。

私たちが心を新たにし、世界平和を求める歩みを始められるよう、私はすべての影響力を持つ人々、指導者、そして男女を問わずあらゆるリーダーにこのメッセージを届けたいと思います。

まだ絶望する時ではありません。希望を持てる時です。だからこそ、私たちは今この瞬間から変わることができます。私たちにはまだ行動する時間があります。

ここで改めて皆さまに感謝を申し上げます。そして、この世界に生きる仲間として共に歩み、私たちが故郷で行ってきたことを世界のさまざまな場所へ広げていきたいと思います。

私は森を育てるために、300万本以上の木を植えてきましたが、それは自分のためではありません。生物多様性の保全、持続可能な社会の構築、世界との調和の実現は、自分たちの足元から始まるのだということを示すためです。すべては、自らの家や地域での実践から始まるのです。

私はこの思いを携えて、他の大陸へも足を運んできました。フランス、イタリア、イギリス、アメリカ、メキシコ、ペルーなどを訪れ、文化を再び結びつけ、木を植え、希望の種と人間的なぬくもりを届けてきました。その種が人々の心に根付き、彼らもまた世界に新たな種を蒔いてくれることを願っています。

私の願いは継承した伝統や知恵を後世に残して人生を終えることです。そして希望は私たち自身の責任の中にあるということ伝えることです。私たちが何者であり、将来世代や未来のために何ができるのかを示す責任が、今の私たちにはあります。そのために、まずここから始めましょう。

国を導き、運営している多くの指導者たちの心が目覚めることを願っています。また、政府の指導者たちには、私たち先住民族の声に耳を傾けてほしいと思います。私は軽い気持ちでここにいるわけではありません。

私たちは地球が抱えている問題を知っています。そして、それを乗り越えるためには、まず私たち自身の意識が変わらなければならないことも理解しています。

私たちは発展のあり方、生活の質、食料主権、そして地球の豊かな生物多様性を守る方法について真剣に考えなければなりません。

このメッセージを皆さまにお伝えすると共に、心から感謝を申し上げます。庭野平和賞は私の人生を通して大切にしていけるものであり、これから生まれ育っていく私の子どもや孫たちへ受け継いでいきたいと思っています。本当にありがとうございました。

最後に、祖先たちの精霊に捧げる平和の歌をお届けしたいと思います。

ヨレンカ・タソレンツィ研究所 代表
ベンキ・ピヤコ